

令和２年 第９回委員会会議録

１ 開催年月日 令和２年６月５日（金）

２ 開閉会時刻 開会：午前１０時３０分 閉会：午前１０時５４分

３ 場 所 福岡市選挙管理委員室

４ 出席委員 津田委員長、濱田委員長職務代理者、三原委員、石井委員

５ 事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長、書記２名

６ 傍聴者 なし

７ 議 題

（１）議案

議案第５号 直接請求に必要な選挙人の数について

（２）報告事項

① 選挙人名簿登録者数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

（３）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和２年６月２２日（月）午前１０時３０分

・令和２年７月６日（月）午前１０時３０分

・令和２年７月２０日（月）午前１０時３０分

８ 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（１）議案

議案第５号について、事務局から説明を行い、審議の結果、出席委員の全会一致で可決された。

（２）報告事項

報告事項①と②について、事務局から資料の説明・報告を行った。

（３）その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

○ 町村議会の選挙において、全国一律に１５万円の供託金を導入するよう、公職選挙法の改正が国会で行われているが、世界的に見ても、日本の供託金の額は高く、供託金の減額を求めるような意見もある。

供託金制度は、売名目的での立候補や候補者の乱立を防ぐなどの目的で創設
されたものであるが、特に町村長選挙や町村議選挙については、立候補者が減
少し、無投票が増加している状況であり、供託金を新たに設定することは時代
の流れに逆行していると思う。また、女性や若者にとって立候補の大きなハー
ドルになると思う。
▲ 報道によると、今回の改正法案は、供託金の導入とあわせて、ポスターやビ
ラ・選挙カーなどの経費を公費で負担できる内容も含まれているようである。
○ 公費で負担するということとセットで供託金を導入しているが、市議会議員
選挙においては、公費負担の規定があるにもかかわらず、条例を制定していな
い自治体が全国で10%程度あり、選挙の公平性を保っていくことが重要だと思
う。
県議会議員の供託金は60万円、指定都市以外の市議会議員の供託金は30万円
であり、町村議会議員の供託金が15万円というのは高いと思う。
公費負担と供託金については、切り離して考える必要があると思う。
○ 供託金については、同じ意見である。選挙管理委員会は指定都市の会議での
活動などを通じて、立候補しやすい環境を作っていく必要がある。